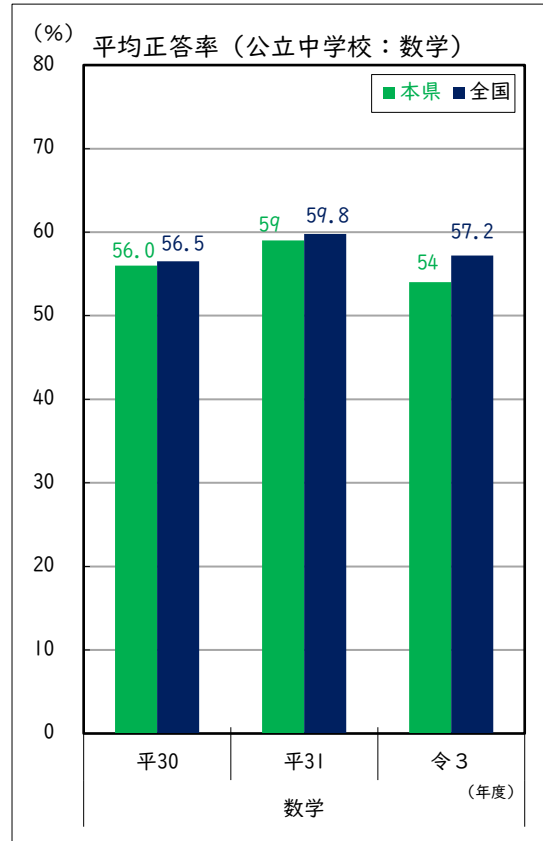
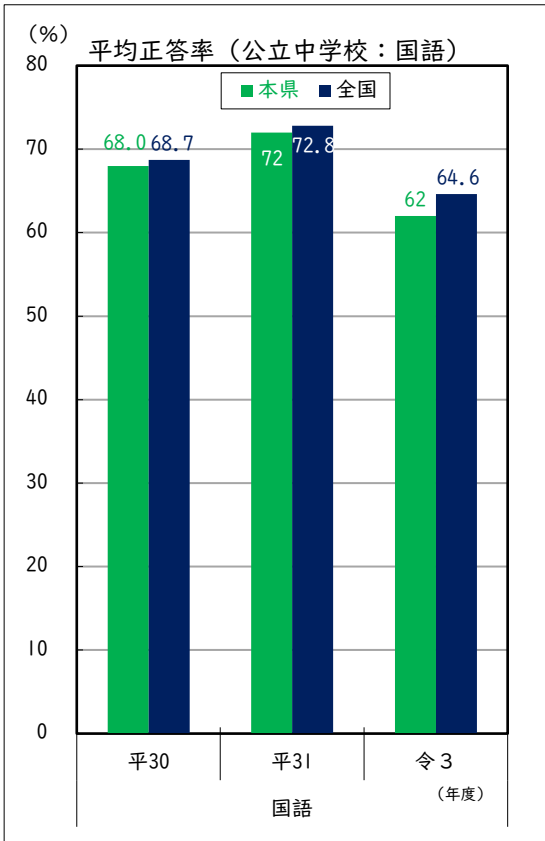
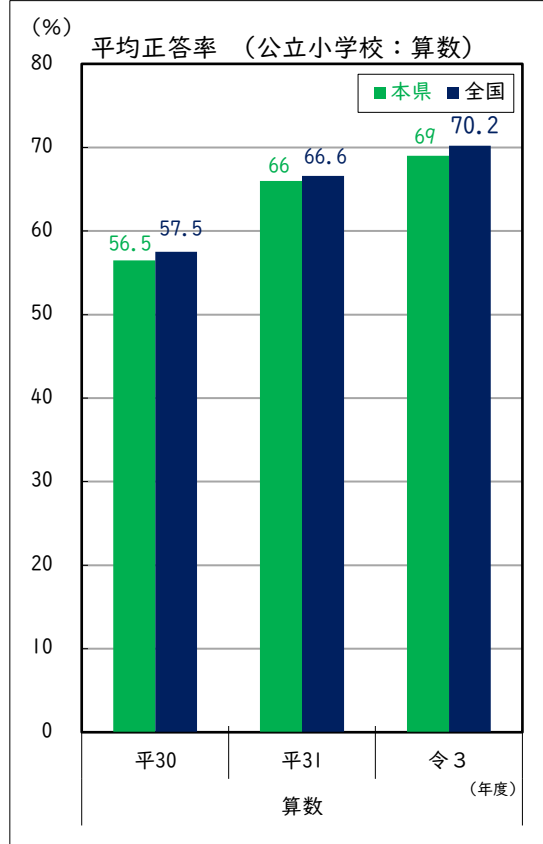
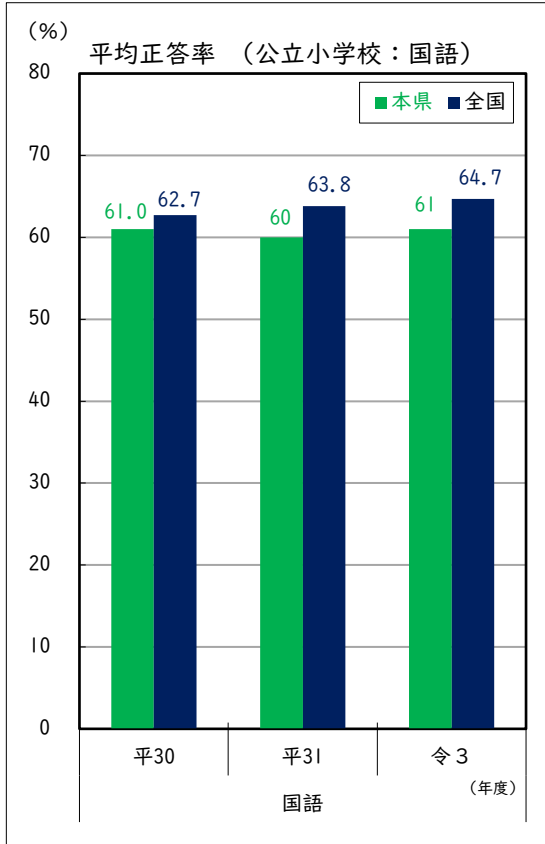


5 学力・学習等

5-1 学力状況

令和3年度の平均正答率については、公立小・中学校とも全国平均を下回っている。小学校国語を除いて、平成31年調査と比較して、全国平均との差が広がった。

(注) 平成30年の平均正答率は、各教科のA問題とB問題の平均正答率の平均

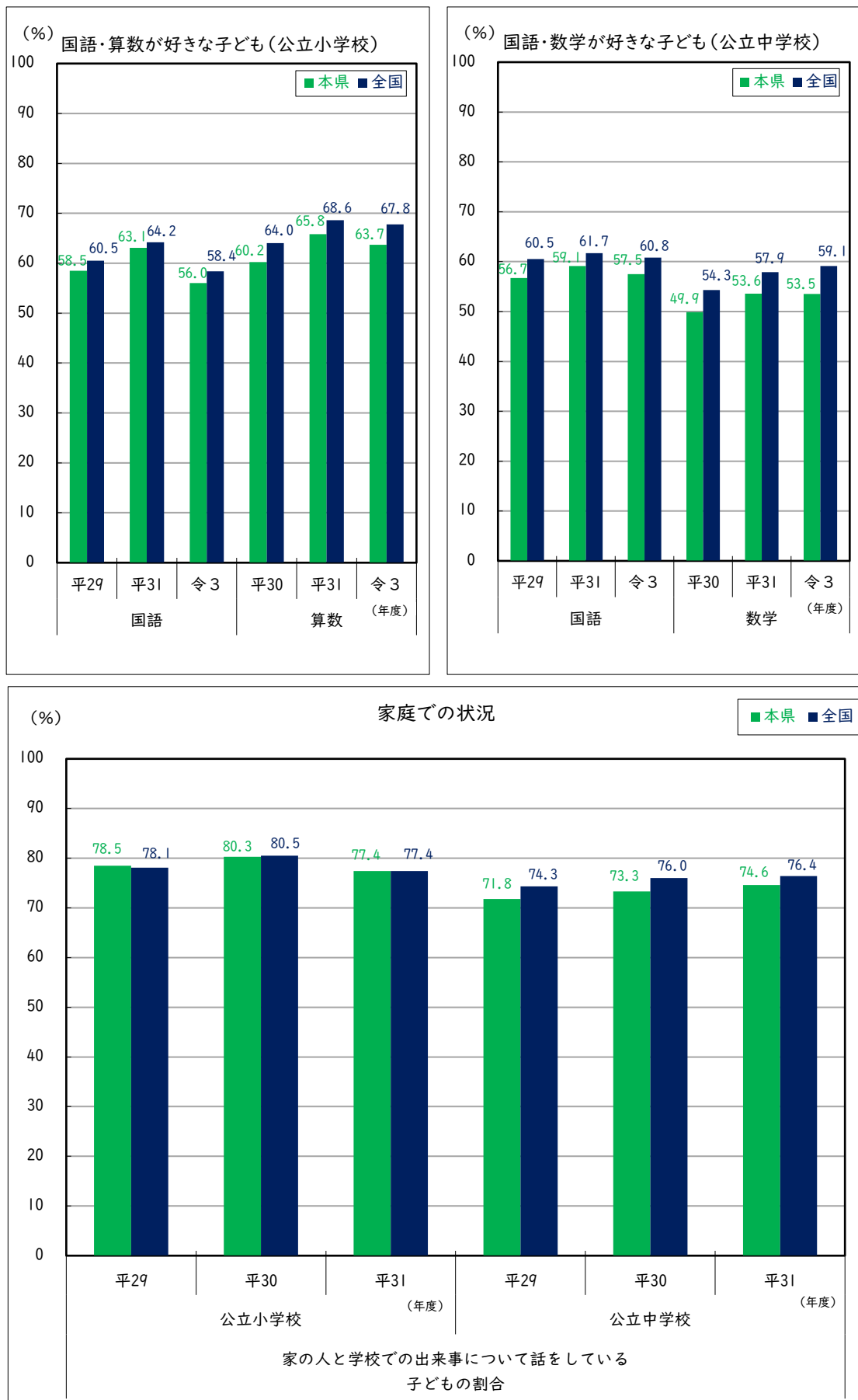


更新：R4.2

(資料) 文部科学省「全国学力・学習状況調査」

5-2 学習状況・家庭での状況

令和3年度は、「算数・数学が好きな子どもの割合」は、小・中学校とも全国平均よりも低い(国語については平成30年度調査なし)。「家の人と学校での出来事について話をしている子どもの割合」は、中学校が全国平均を下回っている(令和2年度以降調査なし)。

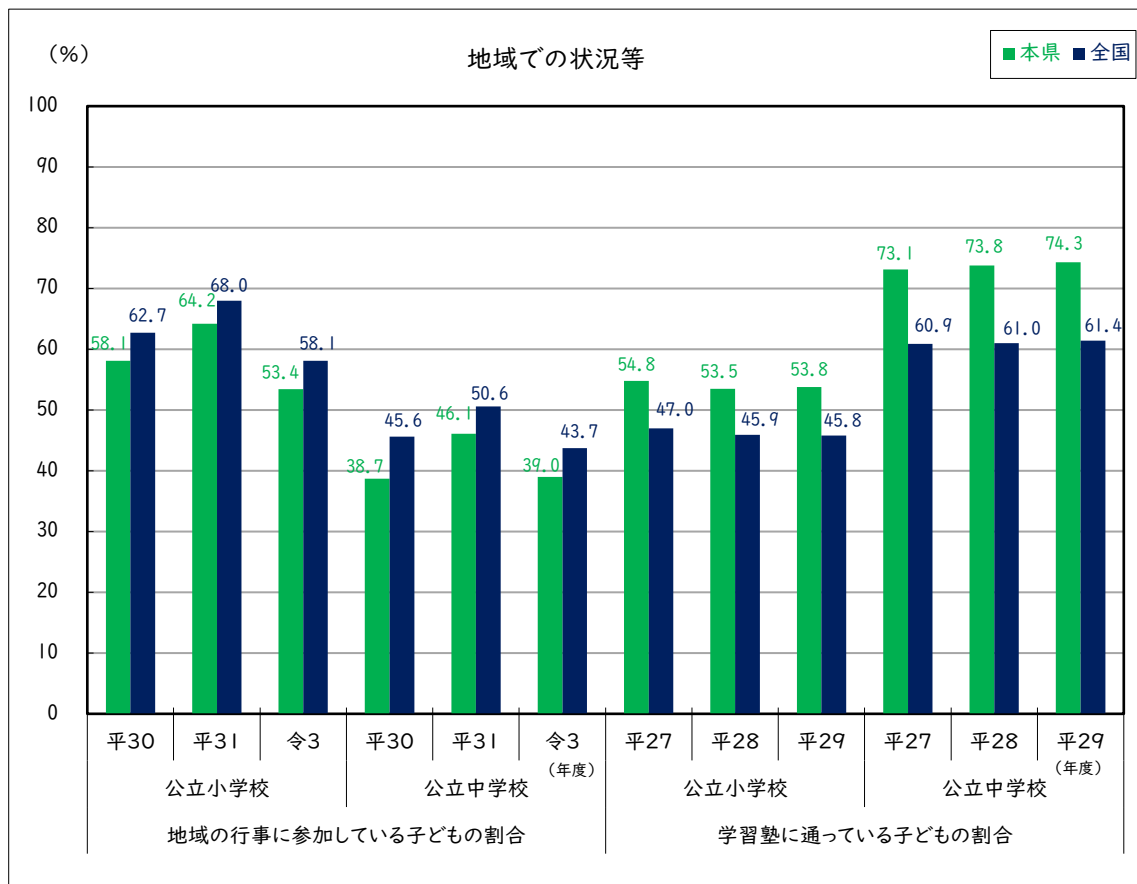
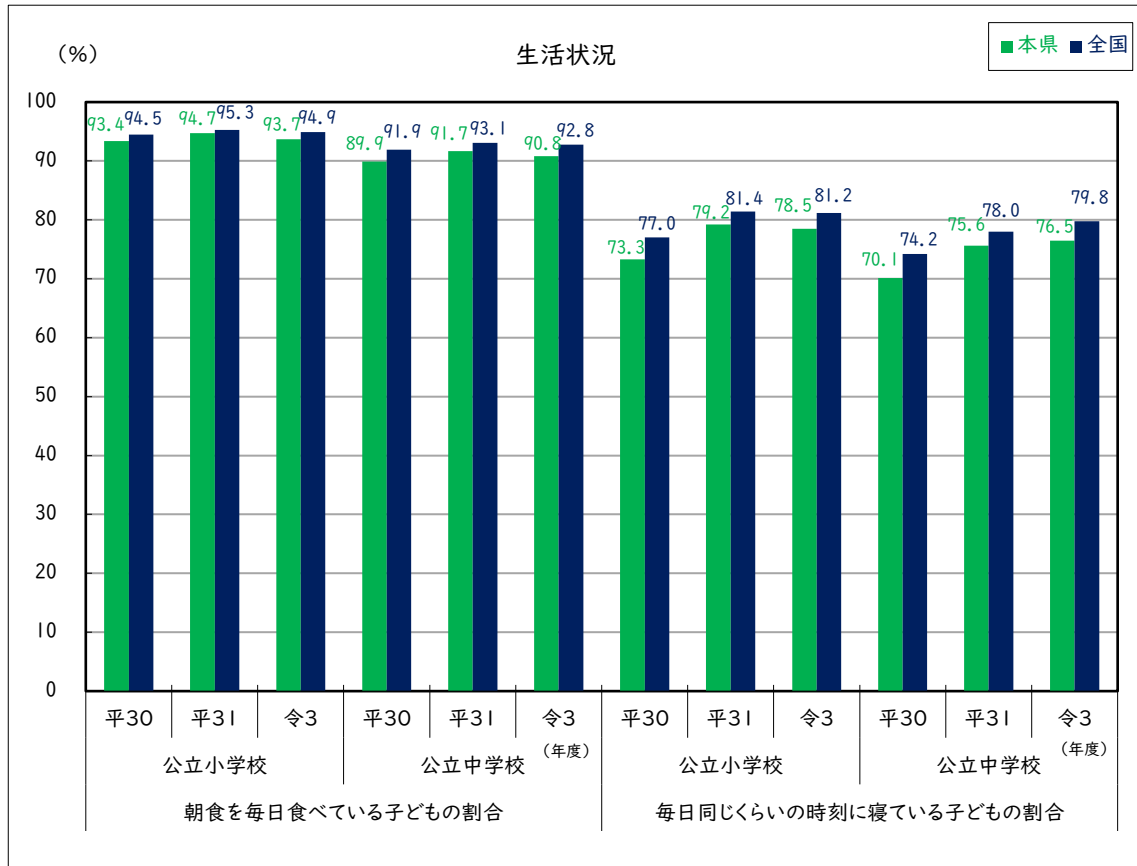


更新:R4.2

(資料)文部科学省「全国学力・学習状況調査」

5-3 生活状況・地域での状況等

「朝食を毎日食べている子どもの割合」「毎日同じくらいの時刻に寝ている子どもの割合」「地域の行事に参加している子どもの割合」は、全国平均を下回っている。「学習塾に通っている子どもの割合」は全国平均に比べて高くなっている（平成30～令和2年度調査なし）。

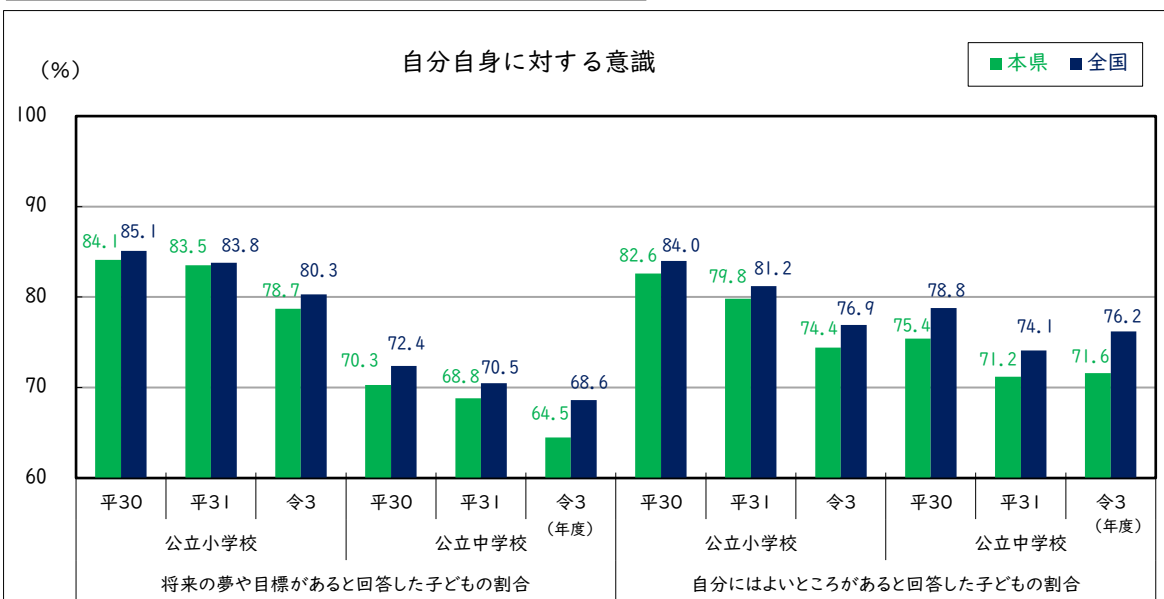
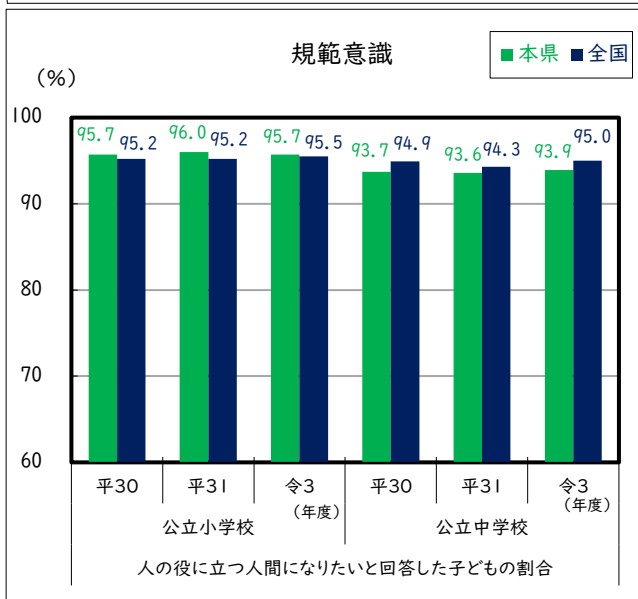
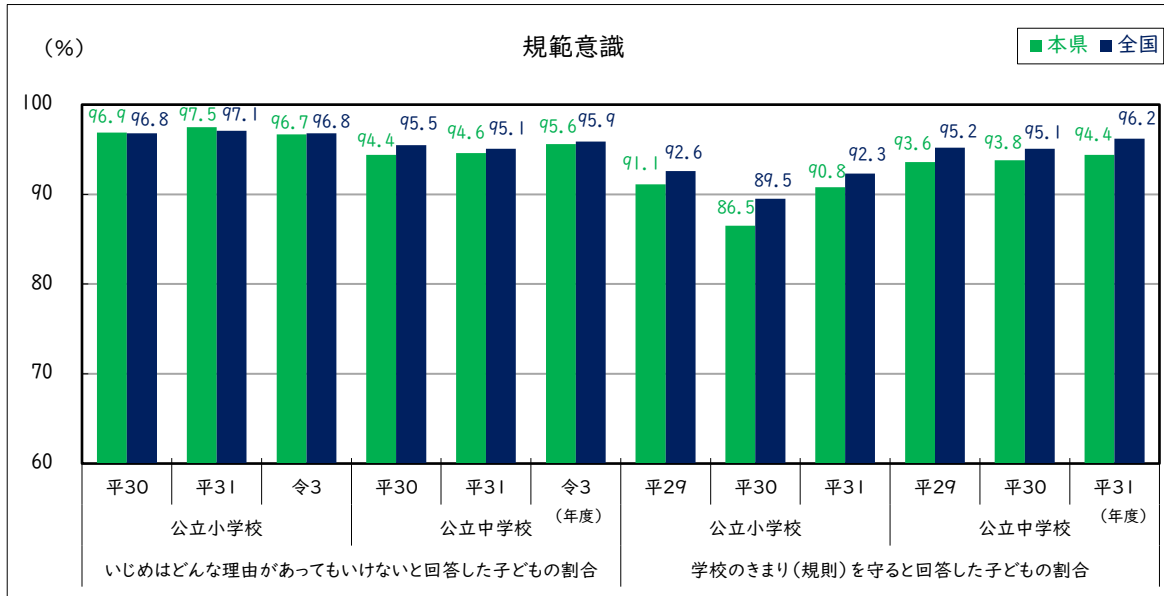


更新:R4.2

(資料) 文部科学省「全国学力・学習状況調査」

5-4 規範意識・自分自身に対する意識

多くの調査項目で、全国平均とほぼ同じ調査結果となっているが、「自分自身に対する意識」の「将来の夢や目標があると回答した子供の割合」や「自分にはよいところがあると回答した子どもの割合」は全国平均より低い結果が続いている。



更新:R4.2

(資料) 文部科学省「全国学力・学習状況調査」